

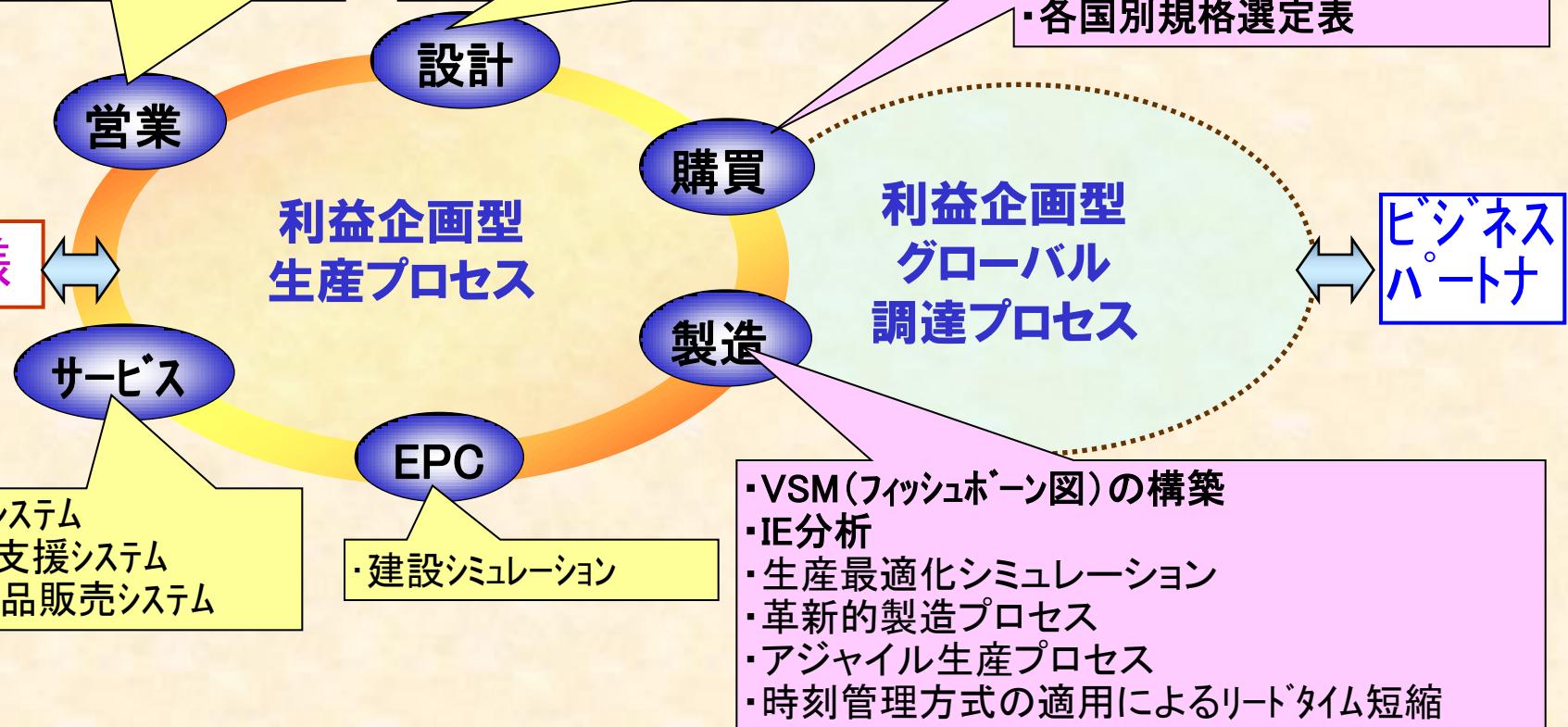
參考資料4：
新産業戦略協議会（第2回）
構成員事前検討資料一覧

コスト・リードタイム管理生産システム

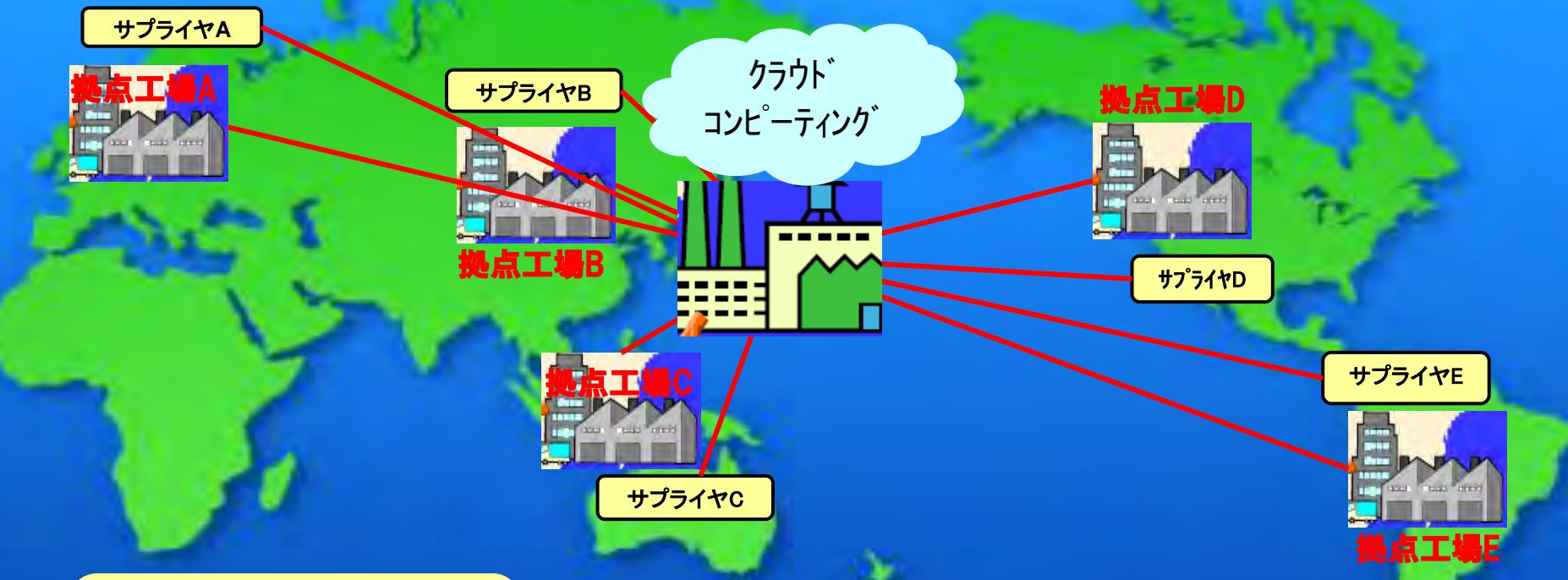
- ・マーケティング強化のための市場顧客データベースの構築
- ・お客様視点の商品企画
- ・営業支援システム

- ・悪魔のサイクルに陥らない活動
- ・MCMD & DFX
- ・設計システムの構築
- ・試作システム構築

- ・グローバル調達マニュアル
- ・パートナー管理標準
- ・サプライデータベースの構築
- ・VE活動
- ・各国別規格選定表



- ・拠点サプライヤコントロール
- ・拠点工場生産管理
- ・グローバル戦略のリアルタイム実践



- ・市場情報の見える化
- ・サプライヤ情報の見える化
- ・生産情報の見える化

【バリューチェーンシステムの考え方】

- ・ものづくりとはバリューチェーンシステムそのものと考える。
- ・バリューチェーンの各々のフェーズで各支援システムを作成する。
- ・この各システムをITにより繋げることで、ひとつの製品のバリューチェーンシステムが構成される。
- ・このひとつの製品のバリューチェーンが更に世界の各拠点と繋がり、これを最終的に統合コントロールするシステムまで拡げるのが最後の姿。

【まず具体的に着手するフェーズ】

- ・製造の部分から開始し、まずは現状分析から入り、理想となる情報・モノの流れを作り上げるところから開始する。

第2回新産業戦略協議会に向けた 事前検討

2016年2月17日

株式会社 安川電機

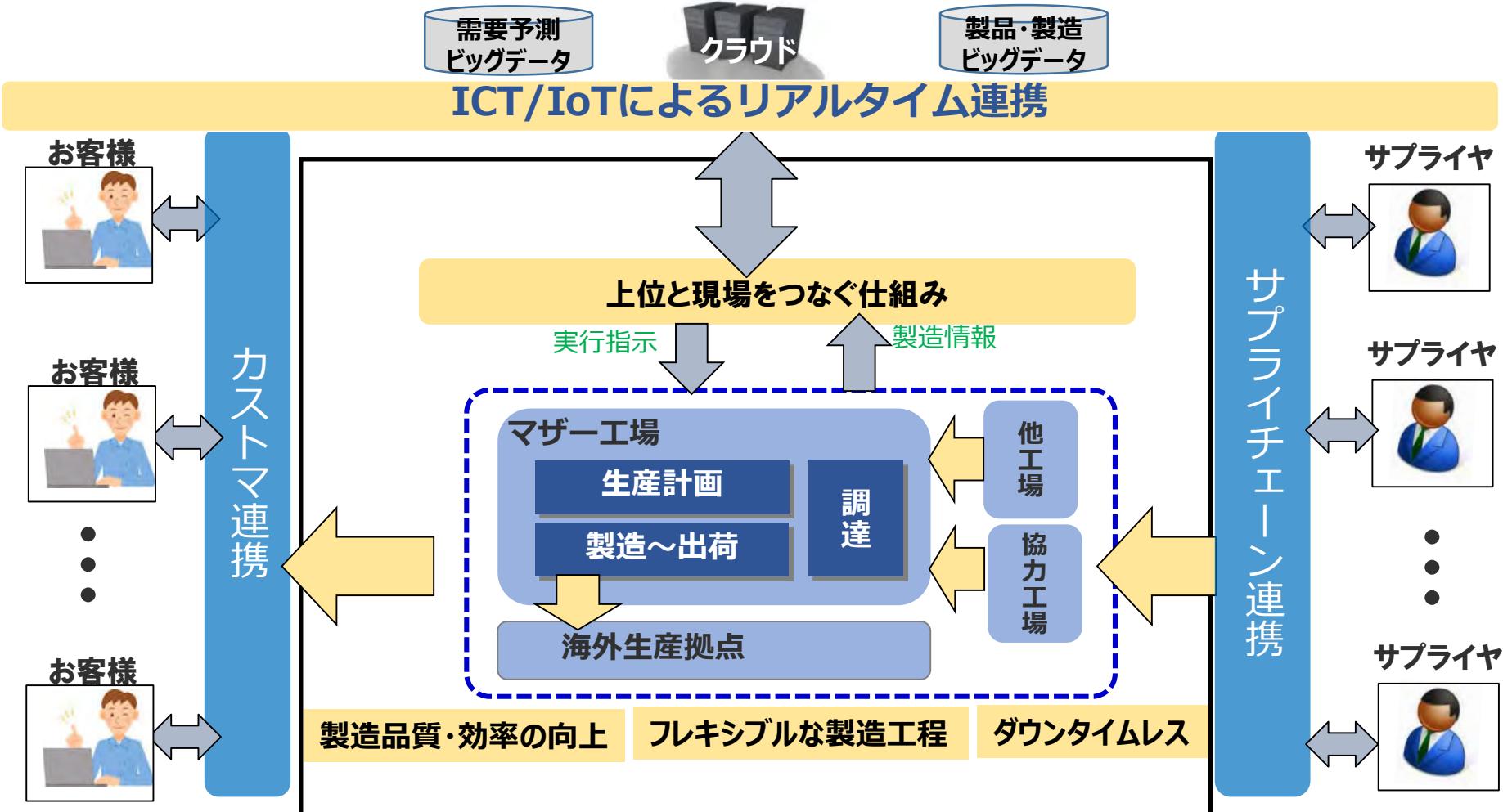
生産・業務本部

吉田 一昭

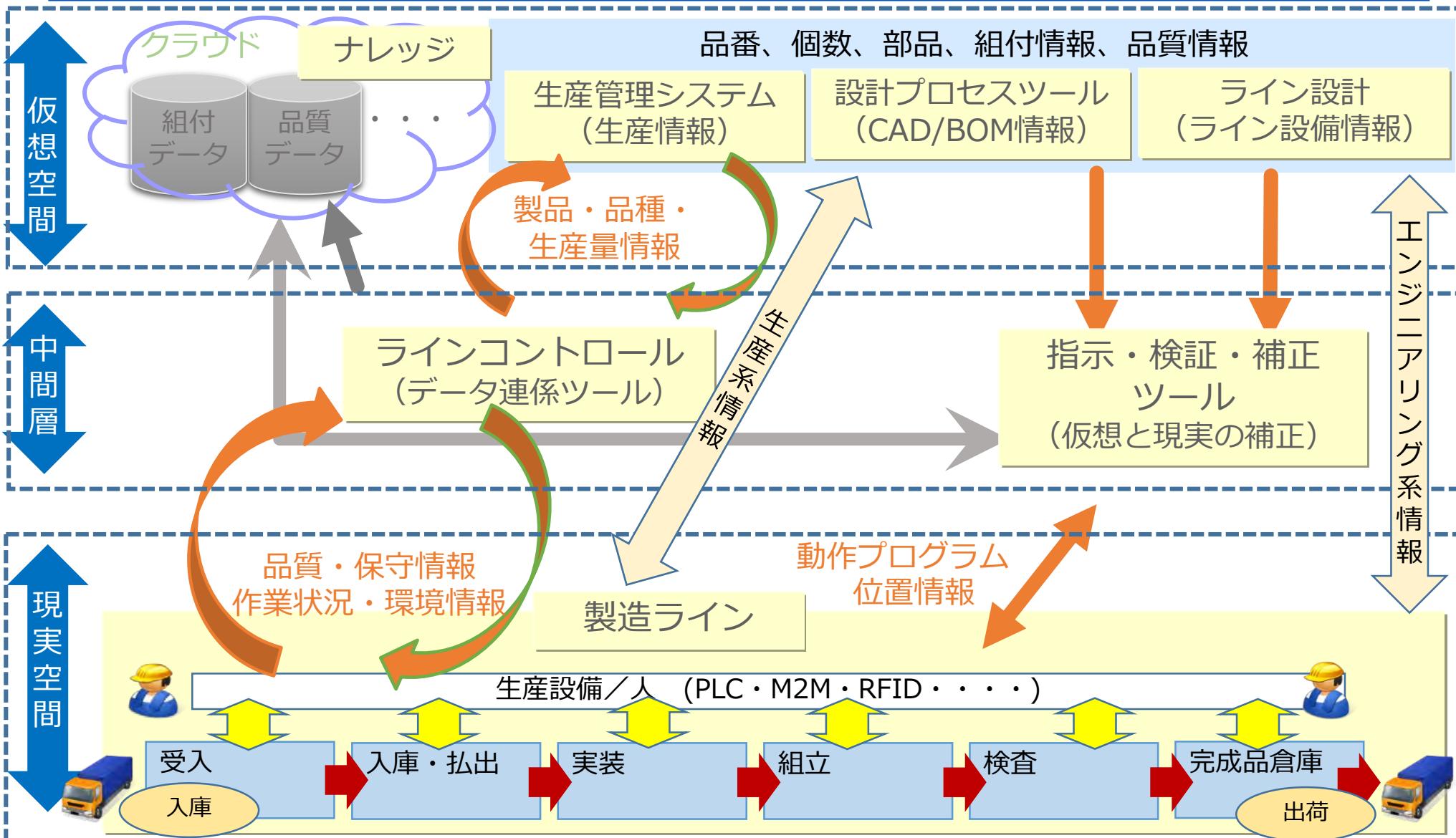
© 2015 YASKAWA Electric Corporation

次世代の生産システム（新たなものづくり）

お客様要望（欲しいものが選べる、欲しい時に届く）をスマートに実現する、
リアルタイムで繋がる生産システム



プラットホームと実証実験について



「プラットホーム」

- ・「仮想空間」「中間層」「現実空間」それぞれの階層をグループとして分け、プラットホームを規格化するスキームを形成する。
競合関係にある企業同士が同じグループになる場合が想定されるため、グループは1つではなく、複数のグループ形成を可とする。
- ・各階層とは、規格化されたインターフェースにて接続できることを前提とする。
- ・各社の得手、不得手、事業領域、戦略等を考慮し、プレイヤーを募り実行していく。

「実証実験」

- ・国主導の企業参加型 JV にて実行。
- ・手を上げるメーカーを募集し、一定の基準を満たすことを条件に実証実験の場所とする。
※一定の基準は今後、議論が必要